

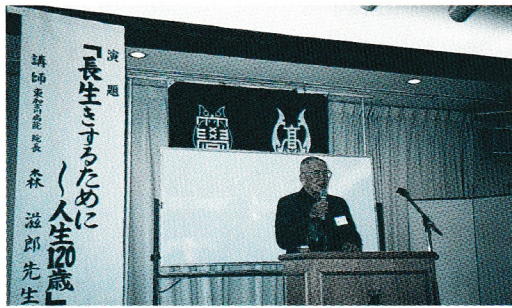
東はりま甲南会報

第 6 号
発行
平成15年4月21日

会長ごあいさつ



東播磨甲南会
会長 森 滋郎



昨年度、総会 H14.5.18 加古川プラザホテルにて

15年度の東播甲南会の総会が参りました。本当に月日の経つのは早いものです。私の孫ちゃんも甲南大学に御世話になっております。大学の様子は、孫ちゃんからいろいろ聞きますが、私の通っていた甲南はとも大きく変わったなと思います。この東播地区で二千名の卒業生がおられるとのこと、本当に心強いことです。皆様も通学は重い靴を持って毎朝遅刻せぬよう登り坂を通学されたこと。私、7年間国道電車（その頃、

今の2号線に電車が走っていました。で、住吉で下車（本当は魚崎駅まで行けばよいのですが）一区延び運賃が高くなるので、住吉で降りました。あと、坂道を歩き反高林（たんだかばやし）で予鈴を聞いて、あ間に合った！とほっとした嬉しさは、今でもはつきりと思ひ出します。私はこの7年間の通学のお蔭で、現在健康で暮らせるのだといつもその頃を思ひ出し感謝しております。一年一度の総会です。この総会の準備のため役員の皆様は、本当にいろいろ工夫連絡をしながら準備して戴いております。どうぞ、総会に参加していろいろの想い出を語り合ってください。きっと皆様も楽しい一刻をお持ちになることでしょう。又何か、この会に対する御意見、御希望等事務局の方へお便り下されば幸甚です。



昨年度、総会 H14.5.18 加古川プラザホテルにて

甲友室だより

法曹養成高等教育研究所 からロースクールへ

所長 谷口 勢津夫

法科大学院（ロースクール）は、現在進められている司法制度改革のなかで法曹養成制度の中核として極めて重要な役割を期待されています。我が国の高等教育史上初の、この本格的なプロフェッショナル・スクール（高度専門職業人養成に特化した実践的教育を行う大学院）には、理論的教育と実務的教育との架橋、少人数での双方向的・多方向的で密度の濃い教育、授業方法・計画・内容・成績評価方法等を明示した詳細なシラバスの作成、厳格な成績評価・修了認定、自己点検・評価等、法曹養成教育の質を担保するためのさまざまな取り組みが要請されています。また、公平性・開放性・多様性の確保のため、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）を明確にし、法学部以外の学部出身者や社会人等の多様なバックグラウンドをもった学生を積極的に受け入れることも求められています。

法科大学院に対するこのように大きな期待や要請に充分に応えるためには、その開設前に周到な準備をしておかなければなりません。甲南大学では法科大学院の平成16年（2004年）4月開設を目指して、いわば「プレ・ロースクール」として法曹養成高等教育研究所を開設し、学外の研究者や実務家の方々にもご協力をお願いして、法科大学院における教育の内容・方法

や入学選抜のあり方・方法に関する研究開発を、これまで以上にインテンシブに進めることにいたしました。特に教育内容・方法については、模擬授業やその参加者（研究員・学生等）による相互評価を通して、「本番」を強く意識した実践的な準備を積み重ねてまいります。

このような準備の「先」にある甲南大学の法科大学院における教育は、
①法律基本科目の体系的・段階的教育
②基幹的ビジネス・ローの体系的・総合的教育
③企業実務等の法律実務の基礎教育
④社会が直面する諸問題を取り扱う基礎法学・隣接科目の教育
⑤法学ガイダンスの充実
といった特色をもったものにすることを予定しております。

法曹養成高等教育研究所から法科大学院へ、二歩二歩着実に準備を進めてまいりますので、今後ともご指導、ご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

■お問い合わせ
甲友室 TEL 078-441-4548





理事長ご挨拶

学校法人 甲南学園
理事長 池上 吉藏

東播磨甲南会の皆様のご活躍と日ごろからの母校への厚きご支援に對しまして、心からの敬意と感謝を申し上げます。

戸山前理事長の後を受け、昨年より学校法人甲南学園 第12代理事長に就任しました池上吉藏でございます。創立以来80年の歴史と伝統の重きに身の引き締まる思いですが、微力ながら精一杯、その任を果たす覚悟しておりますので、どうぞよろしくご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

さて、少子・高齢化の対応策や長引く景気の低迷による学生の就職難の問題など、学園を取り巻く環境は非常に厳しいものがあります。この変革の時代にあつて高等教育の真価が問われており、甲南学園の実力が試される時が、まさに到来しております。この大きな変化をむしろラッキーなチャンスとして捕らえてチャレンジすること。すなわち、教職員全員が総力を挙げて、甲南学園の新しい理念を大きく掲げ、飛躍の第一歩を踏み出してまいりたいと思っております。そして、学園だけではなく卒業生やご父母の皆様と一致団結してこの難局を乗り越えて行かねばなりません。学園の祖、平生鈞三郎先生の建学の理念である『世界に通用するリーダー』の育成に取り組むことが、時代を超えた甲南の姿勢であると考えております。個々の持つ天賦の才を引き出し、そしてそれを伸ばす教育実践の場であるとともに、徳・体・知を具える人材育成に、一層の努力と情熱を注いでまいる所存でございます。

どうぞ今後とも、より一層のご協力のほどをお願い申し上げます。ご挨拶に替えていただきます。



書の魅力

日展会友(特選受賞)、読売書法展理事
日本書芸院展理事、
兵庫県書作家協会理事長
昭和44年 経済学部卒
明石 聴濤(昇)

甲南大学経済学部を卒業して三十五年近くになりますが、学生時代の四年間は甲墨会での活動しか印象に残っていません。

部活での書三昧の日々で今の私があると思います。

書に魅せられ、書技向上の苦しみより、作品を作り上げる楽しみが勝つたのでしょう。日本の伝統芸術である書道は幅広く、奥深く、日本人の「心」が最も端的に表現出来るものの様に思います。

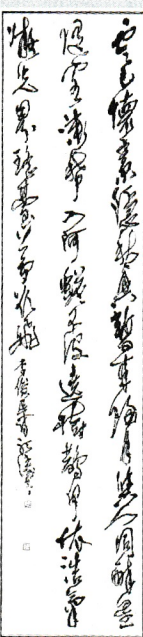
言葉や文字は日本文化の元であり、それを真つ白な紙の上に、墨・筆の文房四宝を用いて、自分の気持ち表現し、書き上げた時の充足感は何にも換え難いものがあります。

墨の摺り心地、香り、多彩な墨色、筆から得られる弾力、剛柔さ、円やかさ、用紙の墨の含み、余白美等々、色々な要素が融合され、始めて作品が生まれます。

私にとっては作品を創作する過程の中に、心の癒し、心の余裕を得ている様です。

気力、集中力、リズム感、感性等多くのもの求められる中、反故の山に身を置く心地よさと二時の安らぎがあります。

昨年の日展に於て、第五科(書道部門)で幸運にも特選をいただきましたが、書家として二十五年間、倦まず日々継続してこれたお陰と思っております。好きな道に身を置く幸せを感じつつ、書の魅力を広く伝え、次代に繋げる責任を果たしていきたい。



第34回日展 李俊民詩 特選 明石聴濤

『趣味の絵を 描き続けて25年余』

加古川市役所勤務
昭和42年 経営学部卒
菅原 章夫

菅原 章夫

「只今、活躍中。会員取材シリーズ第1弾」は去る3月2日から1週間 播磨町三子「工房 ぽえむ」で個展「風景ひとり展」を開催中の最終日の8日に三宅隆宏が夫婦で訪ねました。このギャラリーは昨年11月新築オープン、郷土の著名な作家 宮脇成之、小倉春夫、来住しげ樹、山本嘉彦、入江美幸の各氏が洋画、水墨、書道など個展を開催されました。今回、菅原氏は素人ながら最大80号の油絵から絵葉書サイズの版画まで26点を展示されました。



最終の土曜日ということで菅原氏にお会い出来、いろいろお話をお聞きしました。菅原氏が油絵を描くようになったキッカケは、就職をしてからのことで、小学校の時に絵画教室で絵を習ったことがあったが、以後、学校の授業以外は絵筆を持つことはあまり無く、仕事を始めて何年後に職場の有志で絵の同好会を作ったのが最初で、油絵を始めることになったそうです。

当初は例会に通って指導を受けるだけだったが、今は逆に仕事の合間に自分で時間を作ってスケッチ旅行で気分転換を兼ね、絵の修行のつもりで写生に出かけることが多いそうです。25年余りを経ていつの間にか作品も増えたので、工房ぽえむの主から展示依頼を受け、それをよい機会に「風景ひとり展」を開催されたという。会場では菅原氏の知人、恩人、職場などさまざまな方との出会いがあり、懐かしい話、絵の話に花が咲き、小さな会場はしばしば絵の別世界をかもし出していた。時には公募展にも発表されてきたが、まだまだ自己満足の域を越えていないと仰っているが、来場者の方々の評価はなかなかの傑作揃いとのことでした。

1時間弱と言った短い時間でしたが、その間来場者がひっきりなし訪れ、菅原氏の人気、人脈の広さに改めて感動した取材でした。



会員のエッセイ

「三年目の私」

平成6年 理学部卒

行政書士 澤本事務所 澤本 武司



ほかほかとした陽気のこの頃、東播磨甲南会の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。早いもので、卒業してからももう九年が経とうとしています。

私は、甲南大学卒業後、大阪の会社に約四年勤めた後に退職、平成十二年に行政書士登録、今年で三年目を迎えます。独立自営業者になって当初は、生まれ育った地元であるがゆえの戸惑いもあり、開業後しばらくはほとんど仕事がありませんでした。

そんな時、「東はりま甲南会報」が自宅に届いていたのです。これも何かの縁と思い、早速お世話をされている(株)共立サービスの三宅隆宏社長に会社訪問の申し込みをしました。顔も知らない甲南OBと名乗る電話の声に、三宅さんは快く承知してくださり、その後の訪問時には、昔話から経営者の立場としてのアドバイスまでお話しくださいました。今でも感謝しております。このことを機に、東播磨甲南会の多くの方々と一面識いただくことが出来、今日に至るも本当にお世話になっています。

「たまたま出身大学が一緒だった」という考え方もあるとは思いますが、ひるがえってみれば、これはとても「縁のあること」だととらえることも出来ないでしょうか。特に今の仕事を通じて、縁というものに理屈を超えたものを感じるようになりまして、「縁のあるお客さんは、辛抱強く付き合っていた方がいいが、縁のないお客さんは、いくら値段を安くしても離れていくってしまう」という松下幸之助の言葉を聞いたことがあります。

卒業以来、全く疎遠になっていたにもかかわらず、あたたかく迎えていただけたことをありがたく思うと同時に、これから、こんな東播磨甲南会を私も含め、若い方々が引き継いでいく番だと思えます。先輩方が築きあげてこられた東播磨甲南会の和をより一層固いのにし、盛り上げていけるよう、まだまだ若輩でありますが出れる限り尽力したいと思います。

そして、この記事を読んでおられる私と同世代、若しくは後輩の方がおられましたら、是非積極的にご参加いただきたくお願ひします。年上、年下を問わず、異業種の皆さんとお話出来ることはとても有益なことだし、勉強になりますよ。



これはもう禁煙するしかないですよ！

昭和51年 法学部卒

高砂市議会議員 北 元次郎

昨年8月に健康増進法という法律が制定され、今年の5月1日から施行されます。

その第25条では「学校、体育館、病院、劇場、観覧場、集会場、展示場、百貨店、事務所、官公庁施設、飲食店、その他の多数の者が利用する施設を管理する者は、これらを利用する者について、受動喫煙(室内またはこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされることをいう。)を防止するために必要な措置を講ずるように努めなければならない。」とあります。

これって、ほとんど「山奥以外でタバコを吸うな」ってこと、まあ、たばこ業界も反撃に出るだろうから、分煙とかで適当に抜け道を作るんじゃないか。

「北さんは、タバコ吸わないんですか?」と、よく聞かれます。そんな時は、「酒、タバコは20歳まで!」などと冗談言ってるんですが、幸いにも、私は10年前に禁煙に成功しました。

娘が今年大学に入學する歳になって、あらためて今から思えば、私の甲南大学入試の時、休憩時間にロビーに出れば、そこはタバコの煙がモウモウとして息もできなかったのです。

「なんやこいつら、わしよりワルやんけ!」って感じて、なぜかその後の試験はリラックスして受けることができ、見事、甲南に合格し、しかも無事?卒業することができましたとさ! チャン、チャン!

そして五十代は豊かに!

昭和43年 法学部卒

加古川別府郵便局長 長谷川 高



五十代も半ばになって、しきりに思う事は、朝、洗顔して鏡を見る時。鏡に映るおのが顔に父や母の面影がある。夜、心を省みる。自己特有と思っていた心に父や母の心がまざっている。いろんな本を読んできた。いろんな人から話を聞いてきた。しかし、良くも悪くも、最も強く影響を受けてきたのは父と母である。父と母が人生をどう考え、どう生きてきたか。それがいつも心にあって、何かにつけて判断に影響を与えている。誰しも同じものであると思う。しかも人生というものは自己一代かぎりのものではなく、代を継いでいくものである。私たちの人生が父母・祖先から大小の影響を受けているように、私たちの人生は子供に、孫に、ひ孫にとつながり、大小の影響を与えていく。私たちがど

う生きるか、どう生きたかが直接・間接に子孫を導く。それを考えた時、出来る限りよい生き方をしてやりたいと思う。

二十代は 美しく!

三十代は 強く!

四十代は 賢く!

五十代は 豊かに!

六十代は 健康に!

七十代は しなやかに!

八十代は つややかに!

九十代は 愛らしく!

そして
いざし銀のように
美しい百才へ

それは「乗馬クラブ」で始まった

昭和52年 経済学部卒

滝川工業株式会社 滝川 恵吾



今から4年前45歳になる年のこと

「お父さん何か趣味を持ったら?」と家内

「犬の散歩があるやんか」と私

「それは趣味といえません。年取ったらどうなるの?」とまたまた家内

生まれつき運動音痴でテニスやゴルフといったごく普通のスポーツはどうも向いていないようである。

かといってジョギングやウォーキングといった身体を動かす事もしたくない。

では釣りなどはどうかと思ったが、これまた生まれつきずぼらな性格が邪魔をして入り込めなかった。

そんな中、たまたま冷やかし半分で立ち寄った乗馬クラブにはまってしまう。

多分44歳の中年男がはじめるのだからうまくはなれないだろうと最初から肩の力を抜いて始めたのが良かったのかも知れません。

運動神経がないのが良いほうに幸いして馬に乗っている間は頭の中が空っぽになるぐらい集中して(でないと馬が動かない)丁度よいストレス発散になつています。

モンゴルやカナダといった海外にまで馬に乗りに行ってしまうほどになつてしまいました。

海外の大自然の中で見る夜空は最高です。

皆さんの中で私と同じような方が居られましたら、ぜひ一度乗馬にチャレンジしてみてください。

ひよとしたりはまるかもしれませんよ。

第11回 総会のご案内

● ● ●
時 会 と
間 場 き

平成15年5月25日(日)
加古川ブラザホテル 2F
16:00 受付開始
16:30 総会(第一部)
17:00 講演会(第二部)
18:30 懇親会(第三部)
20:00 閉会
6,000円

※出席者のみ同封の葉書で
5月10日までにお知らせ下
さい。
臨時会費は当日集金。なお、
今回新たに入会される方は
臨時会費は不要です。

講演会の内容



■講師

甲南大学経済学部経済学科教授

藤川 清史

「ITと日本経済」

- 一、そもそもIT(情報通信技術)とは何なのか
- 一、ITで経済社会はどう変わってきているのか
- 一、ITで経済社会はどう変わらうのか
- 一、日本政府はIT化にどのような取り組みをしているのか
- 一、IT化の日本格差はどうなのか
- 一、それで、われわれはどうしましょうか

◆プロフィール◆ 藤川清史(ふしかわきよし)教授

1959年、兵庫県生まれ。

神戸大学大学院経済学研究科修了。

主な著書:「国産化の経済分析」(共著、1998年、岩波書店)、「グローバル経済の産業連関分析」(1999年、創文社)。

趣味: 寺社めぐり。

こだわり: 努力しないで何かが達成されることはありません。

東播磨甲南会 入会のご案内

- 目的: 甲南大学同窓会の東播支部として、本部及び大学との連絡を密にするとともに会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与する事を目的とする。
- 入会資格: 甲南学園卒業生で加古川市、高砂市、加古郡及びその近郊に在住、勤務。
- 入会金: 終身会費1万円(初回のみ)。
- 入会方法: 入会金を所定の振込用紙で入金、総会時受付で、直接事務局へ。
- その他の負担: 総会・行事等毎に参加者からそのつど臨時会費(実費)を頂きます。

※詳しくは下記事務局 三宅隆宏までお問い合わせ下さい。

平成14年度事業報告

平成14年4月10日 機関紙「東播磨甲南会報」第5号 1300名に配布
5月18日 第10回総会開催
11月17日 宝塚甲南会出席
11月23日 関学同窓会加古川支部20周年総会出席

平成14年度決算

H14.1.1~H14.12.31

歳 入		歳 出	
臨時会費	115,000	総会費用(5/18)	199,961
入会金	9,930	機関紙発行等費用	455,100
支部援助金	222,400	他同窓会参加費	30,000
預金利子	149	その他	940
前年度からの繰越金	940,490	次年度への繰越金	601,968
計	1,287,969	計	1,287,969

平成15年度事業(案)

平成15年3月8日 泉州甲南会総会出席
4月21日 機関紙「東播磨甲南会報」第6号を発行
5月24日 宝塚甲南会総会出席
5月25日 第11回総会
5月26日 本部主催「オール甲南ゴルフ大会」参加
7月5日 全国甲南会総会参加

平成15年度予算(案)

H15.1.1~H15.12.31

歳 入		歳 出	
入会金 2名	20,000	第11回総会(5/25)費用	200,000
支部援助金(同窓会本部より)	206,700	第6号機関紙発行等費用	250,000
臨時会費(5/25総会参加費)	200,000	他同窓会参加費	30,000
預金利子	100	予備費	50,000
前年度からの繰越金	601,968	次年度への繰越金	498,768
計	1,028,768	計	1,028,768

編集後記

3/8泉州甲南会総会に出席講演会、懇親会2次会まで参加し親交を温めました。なぜ40名もの人が集まるかを探究。会場のりんくうタウン駅まで行きは2時間、帰りは乗継の拙さで2時間40分かかりました。遠かったです。泉州の皆さん羨ましいくらい仲がよい。女性の参加が無かったのは私としては寂しかった。森会長の推薦により、この2月同窓会本部の「常任幹事」に選任され4年任期で毎月本部へ、「開かれた同窓会」に刷新を！」をテーマに勉強してまいります……。

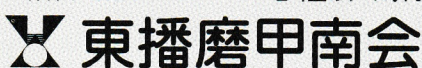
バブル後株価最安値、イラク戦争は始まり、デフレは進行中等景気は一向に回復しやうに無いこの困難な時期を乗り越えるため問題意識を持つてこの5/25総会に出席、藤川清史教授の講演をしっかりと聴き、懇親会で情報交換。(T.M.)

事務局

〒675-0012

加古川市野口町野口116-1

(株)共立サービス 三宅 隆宏 気付



TEL 0794-26-0090

FAX 0794-21-5771

E-mail konan@kyoritu.co.jp